

世界首長誓約／日本 オンラインセミナー2022

環境を生きし、資源、経済が循環する自治のまち
「サステイナブルタウンニセコ」の構築

北海道ニセコ町企画環境課
環境モデル都市推進係
係長 島崎 貴義

2050年二酸化炭素実質ゼロ表明 (ニセコ町気候非常事態宣言)

緩和

温室効果ガス排出量を2050年までに86%削減 (2015年比)

森林管理の適切な管理の推進による二酸化炭素の吸収など

6.2万トン→0.9万トン

0.9万トン

適応

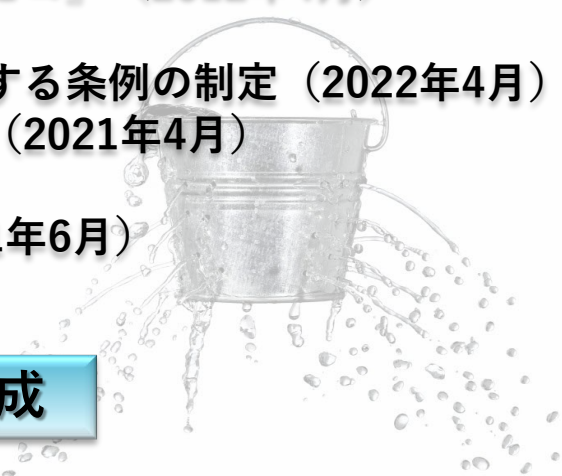
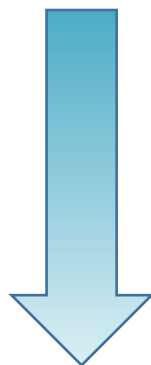
「ニセコ町気候変動適応方針」の策定

高気密高断熱住宅の推進による温度湿度変化の管理など

緩和策を後押しする条例・計画

- ◎第5次ニセコ町総合計画『環境創造都市ニセコ』（2012年4月）
- ◎環境基本条例の改正（2021年4月）
- 再生可能エネルギー事業の**適正な促進**に関する条例の制定（2022年4月）
- 自転車の適切な利用を促進する条例の制定（2021年4月）
- 気候変動対策推進条例（検討中）の制定
- 地球温暖化対策実行計画 区域施策編（2011年6月）
- 森林ビジョン（2021年8月） など

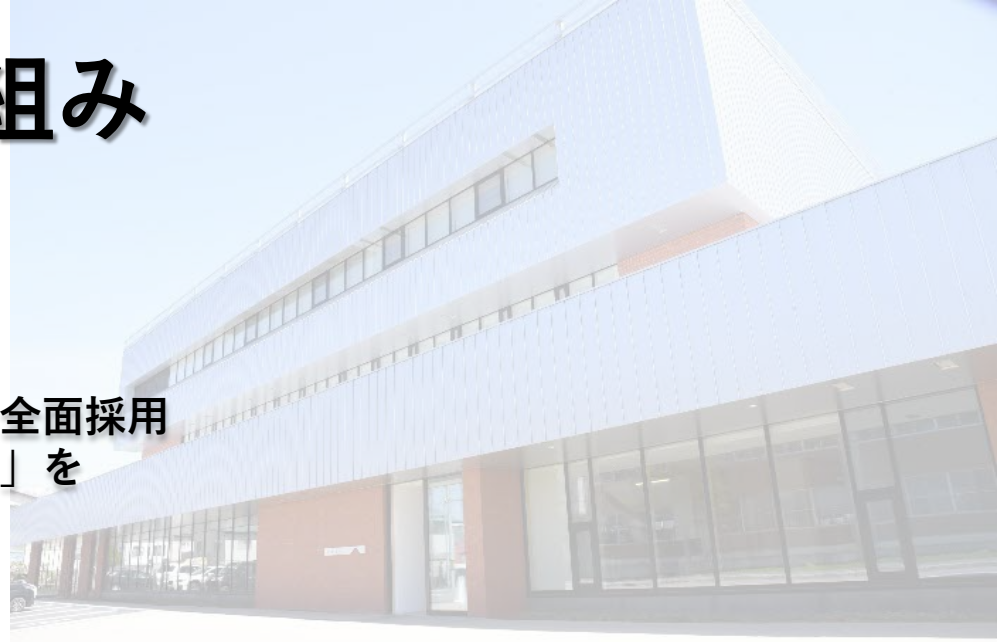
2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ（ゼロカーボン）達成



高気密・高断熱の取り組み

① 役場新庁舎

- 延床面積：3,374.22㎡
- 規模構造：地下1階地上3階
- ◎ 「木製トリプルサッシ（アルコンガス入り）」を全面採用
- ◎ 最高クラスの断熱材「高性能フェノールフォーム」を壁面・屋根面に全面採用
⇒ 外皮平均熱還流率（UA値）0.18W/㎡K
- LPGコージェネレーション設備 9.9kW×1台

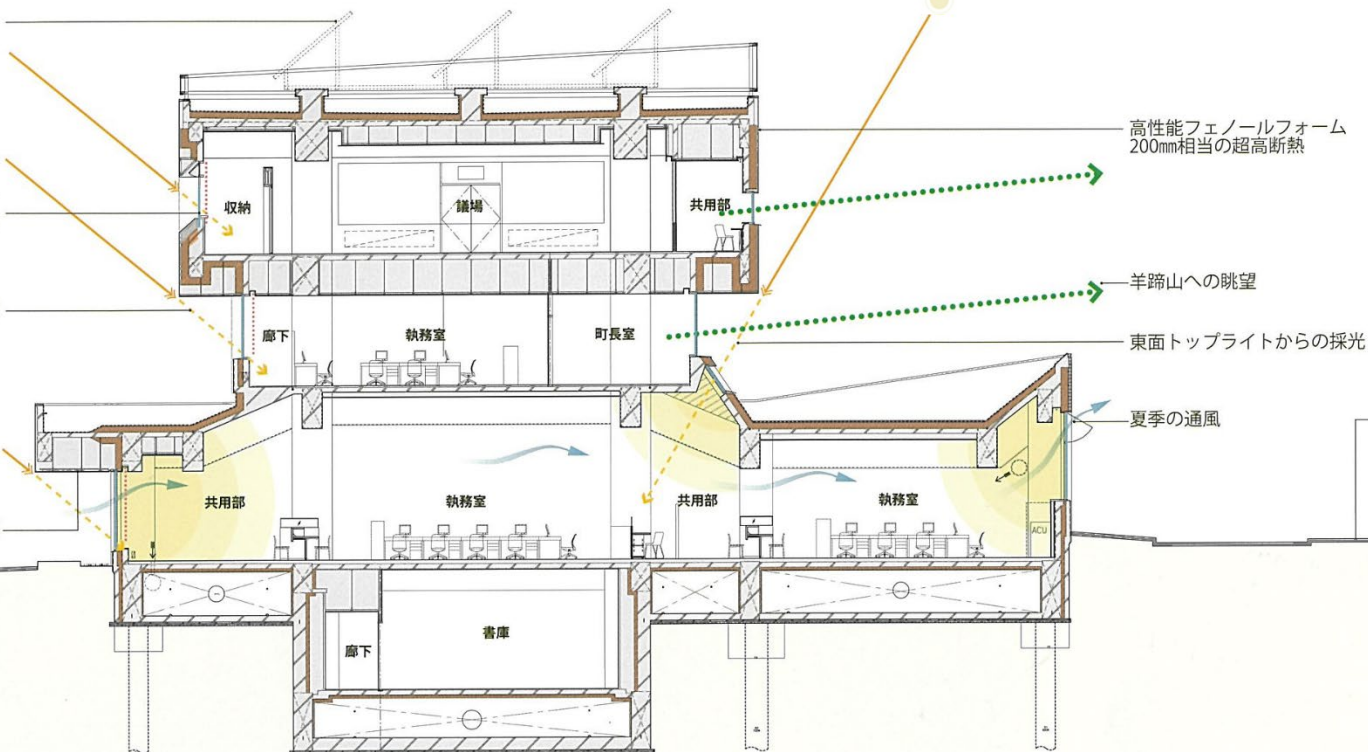


太陽光パネル（将来計画）

アルゴンガス入り
Low-eトリプルガラス

西日を軽減する深い庇

雨よけとなる深い庇



高気密・高断熱の取り組み

② 駅前温泉綺羅乃湯

- ◎LPGコージェネレーション設備導入 25kW×1台
- ◎排熱回収設備導入
 - ⇒冬場で7°Cの水を温泉排熱で温めて15°Cに
- ダブルサッシの内窓に更にダブルサッシを設置
- 高効率照明導入
 - ⇒月々の大幅な光熱水費の削減に



③ 高橋アパート（民間企業の社員寮）

- 高気密高断熱の集合住宅（民間実施）
 - ⇒SDGs街区（ニセコミライ）のモデル住宅
 - ⇒地元工務店が施工
- ◎樹脂製トリプルサッシ（アルコンガス入り）を全面採用
- ◎断熱性のほか、火・湿気・音に強いロックウールを全面採用
 - ⇒外皮平均熱還流率（UA値）0.25W/m²K
- ◎真冬の-15°Cでも主たる暖房は共用部（通路）の左右に設置しているエアコン暖房のみ
 - ⇒各戸には、補助用（念のため）の小さなパネルヒーターが設置されているだけ

【優先順位】

- ① 躯体の断熱性強化
 - ⇒エネルギー需要の最小化
- ② 省エネ設備の導入
 - ⇒エネルギー供給の効率化
- ③ 再エネ設備の導入
 - ⇒エネルギー供給の高効率化

NISEKO生活・モデル地区 ニセコミライ

